

2018年12月25日
一般社団法人 CRD 協会

「金融機関のビッグデータ・AI 活用に関する共同研究」のお知らせ

一般社団法人 CRD 協会は、日本銀行金融機構局、株式会社りそな銀行、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 山下 智志 教授および大学法人 武蔵野大学工学部数理工学科 山中 卓 准教授と、金融機関のビッグデータ・AI 活用に関する共同研究を2018年8月より実施しております。

本共同研究では、決算情報等と比較して「客観性」と「即時性」がある情報として、その有効活用に注目が集まっている預金口座取引履歴情報の信用リスク管理への利用をメインテーマとしています。研究の概要は、統計数理研究所リスク解析戦略センター主催の第6回金融シンポジウム（2018年12月20日・21日）にて発表されましたが、研究活動は現在も継続しており、今後も情報を発信して参ります。

CRD 協会は、今回の共同研究を通じて、預金口座取引履歴情報活用のための知見を蓄積し、会員の皆様と信用リスク管理のさらなる高度化および金融サービスの拡充を目指します。

以上